

事務事業名		衆議院議員総選挙の執行事務				☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業																								
政策体系	政策名	017 自立した行政経営の確立				事業期間																								
	施策名	30 効率的で質の高い行政運営の促進																												
	基本事業名	011 成果重視の行政運営の推進				☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
根拠法令		公職選挙法						予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 04 03 00																						
所属	部課名	選挙管理委員会事務局				事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																								
	課長名	江刺 雄輝																												
	係 名	電話	0192-27-3111																											
	担当者	山田 宏基	内線	168																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 衆議院議員総選挙の執行。 事前の準備、投票、開票に係る業務を行なう。 主な内容は以下のとおり ・選挙期日に基づく業務スケジュールの策定・管理 ・地区担当者説明会、併任書記・投票所庶務担当者・開票担当者の打合せ会開催 ・ポスター掲示場の設置 ・入場券・選挙公報の配布 ・期日前・不在者投票管理事務 ・当日の投・開票準備事務 ・当日の投・開票、開票結果の報告事務 事業費は、職員の時間外手当、消耗品費、投票管理者等の報酬等に支出される。																														
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="6">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>								総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
		事業費計 (A)	0																											
人件費	正規職員従事人数																													
	延べ業務時間																													
	人件費計 (B)	0																												
	トータルコスト(A)+(B)	0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

選挙期日に基づく業務スケジュールの策定・管理、投・開票準備事務、地区担当者説明会、併任書記、投票所庶務担当者、開票担当者の打合せ会、期日前・不在者投票管理事務、当日の投・開票準備、当日の投・開票、開票結果の報告

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

29年度で完了(次回衆院選は4年後)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

小選挙区選出議員候補者
比例代表選出議員候補者
市民(当日の有権者)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

正確な手続きで迅速に選挙が行われる
公明公正な選挙として有権者の納得を得る

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

計画的で質の高い行政運営がなされている

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 説明会等開催回数	回
イ 投票者数(小選挙区)	人
ウ 開票事務従事者数(小選挙区)	人

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 立候補者数(小選挙区)	人
キ 定員(小選挙区)	人
ク 有権者数	人

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 正確さを欠いた事務手続き数	件
シ 開票事務従事者一人当たりの開票数/分(小選挙区)	票
ス 投票率(小選挙区)	%

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円			0			
		都道府県支出金	千 円			18,734			
		地方債	千 円			0			
		その他	千 円			0			
		一般財源	千 円			82			
	事業費計 (A)		千 円	0	0	18,816	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			2			
		延べ業務時間	時 間			1,600			
		人件費計 (B)	千 円	0	0	6,400	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	25,216	0	0
⑤活動指標	ア	回			5				
	イ	人			20245				
	ウ	人			59				
⑥対象指標	カ	人			2				
	キ	人			1				
	ク	人			32250				
⑦成果指標	サ	件			0				
	シ	票			2.38				
	ス	%			62.78				

事務事業ID	1390	事務事業名	衆議院議員総選挙の執行事務
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 国政施行による。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成26年衆議院議員総選挙の投票率は、61.79%であった。 これまで機会を捉えた数々の選挙啓発活動が図られ、期日前投票制度や不在者投票制度利用が浸透するなど、有権者に対する選挙での投票環境は整備されてきている。なお、28年参議院選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられた。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 民主主義のもと、計画的で質の高い行政運営を目指して実施される選挙であり、政策と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 公職選挙法に基づく選挙であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 公職選挙法に基づく選挙であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 公職選挙法に基づく選挙であり、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 公職選挙法に基づく選挙であり、廃止、休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 投票区・投票所見直し等による投票管理者、投票立会人、投開票事務従事者の適正な人員配置と事前研修による効率的な作業の実施。 ポスター掲示場設置場所の効果的な見直し。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 投票区・投票所見直し等による投票管理者、投票立会人、投開票事務従事者の適正な人員配置
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づく選挙であり、公平・公正に実施できている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																			
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む)  3 終了・廃止・休止																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 投票区・投票所見直しには有権者の理解が必要になることから、有権者に対し説明会等の開催が必要になる。		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	全市的な視点で見ると、投票所の設置に偏りが見られるなど、効率性・公平性の観点から改善余地があるので、有権者の意向を踏まえ改善を図るべきである。